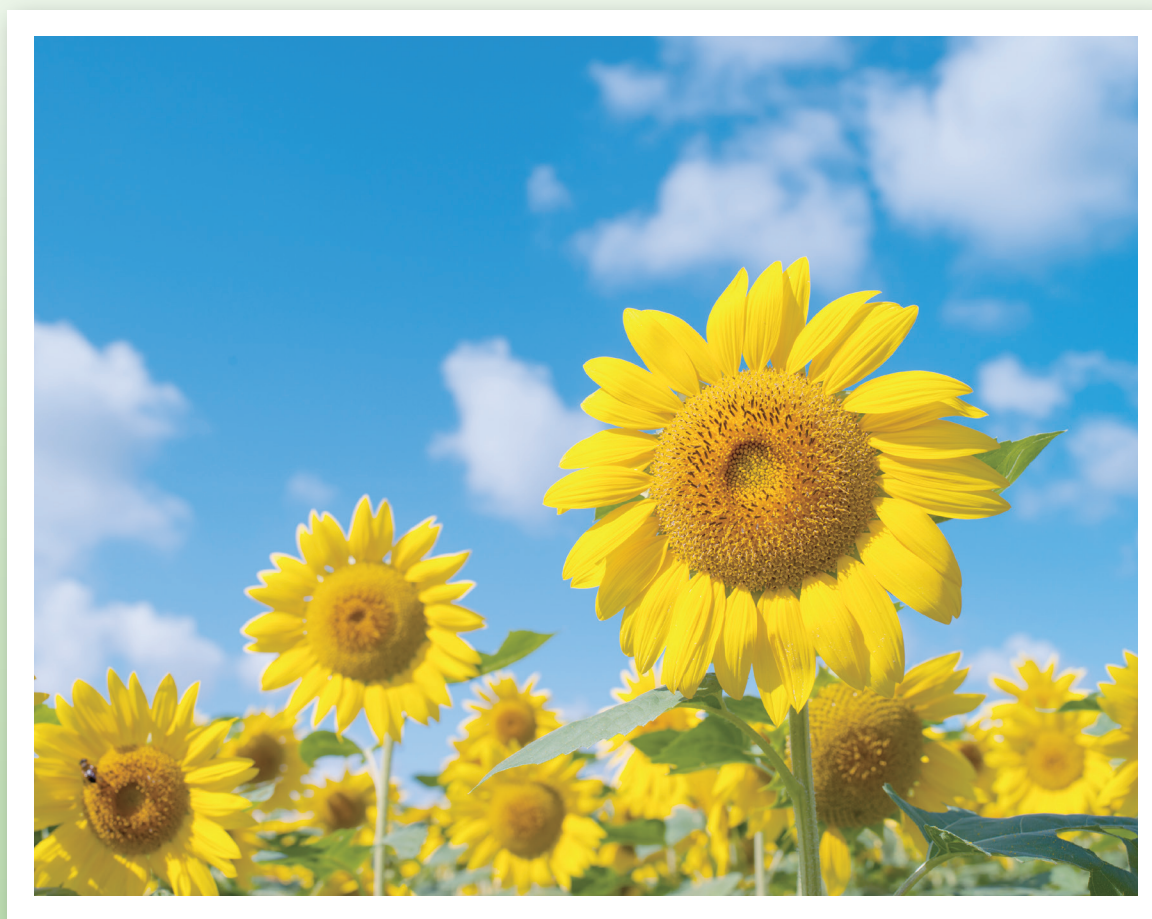




栃木医療センター 広報誌

No.46 2021 July

理念
信頼 貢献 協働



Contents

- 救急外来の受け入れ体制について ……1・2
- 「非常時の備え」できていますか？
／交通のご案内 ……裏表紙
- 職員紹介 ……3・4
- 診療科紹介（小児科） ……5
- 連携医紹介（宇光会 村井クリニック） ……6

独立行政法人国立病院機構 栃木医療センター



救急外来の受け入れ体制について

救急科部長 前田 彰



救急科は専従の常勤医1名と非常勤医2名が在籍しており、その他内科常勤医と外科系常勤医が兼任して当院の救急医療を支えています。

当院では宇都宮市及び周辺地域からの一次二次救急を受け入れています。市内には三次救急を担う済生会宇都宮病院があり、その他救急二次輪番病院として3病院があります。

これまでも一日平均10件前後の受入れを行ってきましたが、病院の施設老朽化とスタッフの不足もあり、救急車をお断りせざるをえないことが多々あり、救急診療スペースの拡充工事を2020年後半に行い、現在では8名から10名の傷病者を同時に診察できるスペースを確保できるようになりました。しかし、救急医療に必要と考える「人・物・場所」においてまだまだ人や物が不足しているため十分に機能できているとは言えませんが、明らかな進歩をしていると思います。

救急医療においては初療開始までの時間を一秒でも短く、また状況に応じて適切な診療科が対応することが望まれます。そのためには「トリアージ(評価)」が最も重要で、救急医療に精通したスタッフがホットライン(救急隊からの直通電話)を持ち、救急隊からの情報を得て速やかに判断する必要があると考え、実践しています。受入れにあたり、脳神経外科は「脳卒中ホットライン」、循環器内科は「循環器ホットライン」をそれぞれ所





持しており、迅速な対応に努めています。救急ホットラインは平日の日中のみ対応していますが、スタッフが充実してくれば24時間365日、医師が対応できるようにするつもりです。

年間の救急受入れ件数は2020年までの直近3年間では、4,016、4,180、3,349と推移してきました。ご存知のように2020年には新型コロナの感染が全国を席卷し、今なお我々の生命を脅かしています。そのため受診抑制もあり、また当院がコロナ対応を行ってきたこともあったため、2020年は収容件数が減少しました。

近年、宇都宮市内全体の救急搬送件数は増加しています。件数の増加は社会の構造上の問題もありますが、解決のための議論もなされてはならず、この傾向は今後も続くものと思います。現状では当院は市内の搬送件数の20%前後を受け入れています。病院の使命、病床数からはまだまだであり、実際に収容要請に応えられなかった事例も多々あります。要請が過度に集中したり、重症傷病者対応していたりすれば「断らない」ということが患者様の最大のメリットにならない場合もあります。我々はその中で「100%受入れ」を目指して、今後もスタッフや設備、受入れの体制を整えていきます。

また、当院では院外の医療活動にも力を入れており、災害医療のスペシャリストである、日本DMATを2チーム組織しており、全国の災害地域へ出動もしています。

傷病者の救急搬送が可能な病院の救急車両も新規に導入しており、DMAT車両あるいは傷病者の搬送車両として使用していきます。

避けられた死をなくすこと、重症化を防いで元気にお帰り頂くことを目標に日々研鑽してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



新しくなった救急治療室



職員紹介



耳鼻咽喉科医長代行 北間 翼

丁寧な診察を心掛け、宇都宮市の医療に貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

出身地：三重県津市
趣味：映画鑑賞



内科医師 河野 勲

微力ながら頑張ります。

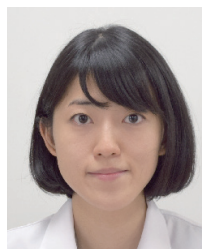
出身地：埼玉県
趣味：ゴルフ



内科医師 三戸 勉

4月より赴任しました内科の三戸勉です。宇都宮市の医療に少しでも貢献できるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

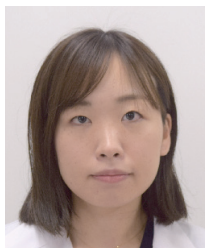
出身地：千葉県
趣味：食べ歩き



内科医師 伊豆倉 遥

担当してもらって良かったと思っただけのように、日々の診療に励みたいと思います。

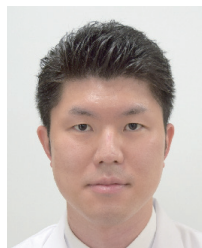
出身地：東京都
趣味：ランニング・温泉に行くこと



内科医師 田中 奈央

初めて故郷である宇都宮で勤務することになり、楽しみでもありますが少し緊張しています。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

出身地：栃木県宇都宮市
趣味：旅行・食べ歩き(コロナ禍で行けていません…)



内科医師 大野 彰久

今まで、三重、岐阜、東京など様々な病院で勤務してきました。栃木は初めての場所ですが、地域に馴染む医療を提供できるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

出身地：愛知県名古屋
趣味：美味しいもの巡り、美術鑑賞



内科医師 竹藤 寛

1年間内科として診療させていただきます。人生で初めて栃木の地に踏み入れますが、住みやすくてとても気に入っています。診療の力を磨くことはもちろんですが、栃木でしかできないことをたくさんしたいです。

出身地：福岡県
小学生から大学生までサッカー部に所属していました。趣味はサウナ・温泉に行くこと、美味しいものを食べることです。最近のマイブームは料理とおにぎりを作ることです。



内科医師 竹藤 亜紗子

私は生まれも育ちも東京で、大学は東京女子医科大学でした。東京医療センターで初期研修を行い、同院内科プログラム 循環器サブスペシャリティコースで後期研修をしています。今回、地域研修として1年間栃木医療センターにお世話になることになりました。空気が綺麗で自然あふれる素敵な環境で働くことができ、とても嬉しく思っております。精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

出身：慶應義塾女子高校、東京女子医科大学
趣味：ダイビング 特技：テニス、歌 得意分野：循環器



内科医師 松本 康平

まだまだ未熟者ですが、少しでも栃木の医療の役にたてるように精一杯がんばります。よろしくお願いいたします。

出身地：千葉県
趣味：旅行



内科医師 吉原 さつき

地域の皆様の必要に応えられるよう、最善を尽くしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

出身地：栃木県
趣味：散歩、掃除



内科医師 山口 高史

三重県で初期研修後、当院に総合診療専攻医として赴任しました。地域の皆様のお役に立てるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

出身地：埼玉県
趣味：読書、ドライブ



内科医師 松山 拓

栃木の地ははじめてとなりますが、御指導、御鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

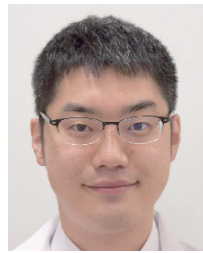
出身地：大阪府
趣味：クラシック鑑賞、クラシックギター演奏、指揮



循環器内科医師 長沼 仁

4月より獨協医科大学病院より参りました。循環器内科医としては未熟者ですが、心不全、不整脈、虚血と幅広く、循環器診療を行える様に努力して参ります。何卒宜しくお願い申し上げます。

出身地：群馬県伊勢崎市
趣味：野球、映画鑑賞
得意分野：外野手（守備）



消化器内科医師 林田 翔

消化器内科全般について研鑽を積み、地域医療に貢献できるよう努力し、患者様・御家族の気持ちに寄り添った医療を目指しています。宜しくお願い申し上げます。

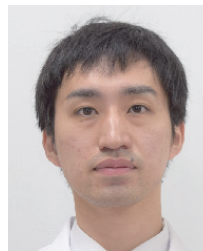
出身地：栃木県
趣味：サッカー、スポーツ観戦



外科医師 佐々木 健人

佐々木健人と申します。3月まで、慶應義塾大学外科学教室で、消化器を中心に診療にあたっておりました。何卒よろしくお願ひ致します。

出身地：埼玉県
趣味：アイスホッケー、サッカー、海外旅行



外科医師 正源 勇朔

丁寧、迅速に対応できるよう心がけていきます。手術が必要または判断に迷う際には遠慮なくお声がけください。

出身地：東京都
趣味：バッティングセンター、カフェ、勉強、スポーツ観戦



泌尿器科医師 松林 秀幸

栃木県で勤務させていただくのは初めてですが、地域に根ざした医療を実践していきたいと考えております。宜しくお願い申し上げます。

出身地：東京都
趣味：ドライブ



脳神経外科医師 唐津 皓介

4月より栃木医療センターに脳神経外科として勤務することになりました。地域医療に貢献できるよう努力致しますのでよろしくお願ひ致します。

出身地：埼玉県
趣味：ラグビー、水泳



整形外科医師 西村 太一

4月から赴任してまいりました。何卒よろしくお願ひ致します。

出身地：大阪府
趣味：スポーツ観戦、音楽鑑賞



整形外科医師 岩見 卓朗

不慣れな点もあるかと思いますが、全力で頑張りますので宜しくお願い申し上げます。

出身地：東京都
趣味：アイスホッケー、ゴルフ



歯科麻酔科レジデント 青島 輝

この度、4月から勤務させて頂いております青島輝です。半年間という短い期間ですが、歯科麻酔研修で多くのことを学びたいと思います。志高く毎日を通し、患者様一人一人に真摯に向き合い努力して参ります。宜しくお願い致します。

出身地：東京都葛飾区
趣味：海外サッカー観戦、ONE PIECE考察、競馬観戦、ラルフローレン集め



歯科口腔外科レジデント 磐田 翔

至誠一貫の精神で頑張ります。よろしくお願ひ致します。

出身地：福島県
趣味：温泉・銭湯



初期臨床研修医 早川 七海

至らない点も多々あるかと存じますが、今後ともよろしくお願ひいたします。宇都宮の医療に貢献できるよう精進して参ります。

出身地：長野県
趣味：サッカー（主にキーパー）、ジグソーパズル



当科の取り組み

2021年4月から小児科の常勤医師は3名となり、山口禎夫は感染・免疫・アレルギー全般、石井ともと金光将史は小児一般とアレルギーを専門としています。より幅広く地域からご紹介頂いている患者さんに対応できるよう、前部長の石井徹は週3回、一般小児および専門である内分泌代謝の外来診療を継続しております。更に小児循環器、神経、内分泌代謝などの特殊な分野もそれぞれ専門の医師が定期的に特殊外来を行っています。

アレルギー専門医の常勤医師3名に加え、アレルギー疾患の患者教育を専門とする小児アレルギーエデュケーター（PAE）認定を取得した看護師が2名おり、アトピー性皮膚炎患者のスキンケア、食物アレルギー患者のアドレナリン（エピペン[®]）自己注射の使い方、気管支喘息患者の吸入手技などを指導しております。アレルギー疾患は、薬の使い方や環境の整え方を少し工夫するだけで症状を改善できる場合が多々あります。効果的な指導になるよう日々の生活状況や小さな疑問にも耳を傾け、患者さんと二人三脚で取り組む治療を行っています。

食物アレルギー、入院加療が必要な気管支喘息やアトピー性皮膚炎の患者さんを近隣の医療機関の先生方から多く紹介して頂いています。2013年以降、食物経口負荷試験件数は年々増えており、2020年は入院で約200件、外来で約430件行いました。

近年、食物アレルギーの治療はアレルギー症状が確認されている食物の完全除去を続けるのではなく、症状が出ない範囲で摂取をすることが基本となっています。患者個人によって症状の程度は異なり、できるだけご本人や家族の不安に耳を傾け、一人ずつに合った摂取量などの治療を進めることで食物アレルギーの改善を目指しています。

ダニアレルギーやスギ花粉症の舌下免疫療法も行っております。食物アレルギーの初診外来は長めに時間を確保しますので、予め小児科外来へ電話で予約をお願いします。アレルギー診療以外にも、地域の小児医療に貢献できるよう引き続き尽力致します。

診療体制

小児科部長 兼 感染アレルギー科医長	山口 禎夫
小児科医長	石井 とも
小児科医師	金光 将史
小児科医師（週3回勤務）	石井 徹



宇光会 村井クリニック

院長 村井 邦彦



1978年に整形外科専門の有床診療所として開業し、現在は整形外科外来のほか、内科外来、外来リハビリテーション、通所・訪問リハビリテーション（介護保険）、訪問診療、ペインクリニック外来を通じて生活の質と楽しみを総合的にお手伝いする医療を目指しています。入院病床は廃止し、手術や入院管理が必要な方には近隣の栃木医療センターをはじめ医療の目的と生活ニーズに合った医療機関をご紹介します。在宅医療の「後方支援病院」として栃木医療センターに事前患者登録もできます。一方、リハビリやペインクリニック、訪問診療、在宅緩和ケアの専門性に対して病院から逆紹介を受けています。

認知症の方の医療・介護ニーズに対して職員の認知症対応力向上に努め、「栃木県もの忘れ・認知症相談医」（とちぎオレンジドクター）として地域包括支援センターや介護従事者と医療機関、認知症疾患医療センターの橋渡しの役割を担っています。弁護士、司法書士、社会福祉士の三士会と連携して、成年後見制度や住宅、財産に関する法的な支援を含め、住まいや医療の選好に関する意思決定支援をお手伝いします。

「地域連携推進室」では、かかりつけ患者さまの登録、かかりつけ患者さまへの定期的なお知らせや体操教室・健康祭り・予防接種等のご案内、「たからぎ通信」の発行、訪問診療のスケジュール管理、介護保険をはじめ各種申請・更新書類の受付を行なっています。特に訪問診療では医療・介護の多職種連携が欠かせないため、制度上の書面による連携のほか、医療・介護SNS「どこでも連絡帳」によるリアルタイムの連携や、緊急時の電話連絡、往診の調整も行います。外来受診できず介護保険申請ができない方には「アウトリーチサービス」として往診のうえ主治医意見書を発行します。

日本栄養士会より「認定栄養ケア・ステーションうつのみや」に認定され、食と栄養の専門職（管理栄養士）が、主に高齢者の低栄養改善、調理しやすい食材や宅配弁当などの導入支援、最期まで口から食べる楽しみと尊厳の支援のために居宅療養管理指導（介護保険）として地域を巡回しています。また、管理栄養士と連携して発声や摂食・嚥下の専門職であるST（言語聴覚士）が訪問リハビリテーションを行なっています。これを「食支援チーム」と呼んでいます。

地域活動として健康づくり（ヘルスプロモーション）、予防活動、健康格差対策を行なっています。下野新聞に連載された「社会的処方」の取組の通り、地域の社会資源を積極的にご紹介し、サロン活動や趣味の活動などを皆さまの健康と幸せ（well-being）に役立てます。医師会や行政の健康づくりの取組に参加するほか、自治会等からの依頼に応じて「地域共生のまちづくり」等に関する講演活動を承ります。また、月1回の「地域支え合い研究会」には誰でも参加できます。

総合的なヘルスプロモーション拠点として当院をご活用ください。

ご案内

診療科目 整形外科・リハビリテーション科・内科
 麻酔科（ペインクリニック）・在宅療養支援診療所
 ※認定栄養ケア・ステーションうつのみや

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	
午後 15:00～18:30	○	○		○	○		

※休診日…水曜/土曜午後・日曜・祝日

※ペインクリニック外来は初診・再診ともにお電話のみの事前予約制となります。



〒320-0061 宇都宮市宝木町1丁目2589

TEL 028-621-1541

「非常時の備え」できていますか？

～栄養管理室～

台風や地震など、自然災害はいつ発生するかわかりません。

「非常食を用意したいけど何がいいのかわからない・・・」という方もいるのではないのでしょうか？

“非常食”は決して特別なものではなく、“日常の延長”と考えてみましょう。

たとえば・・・

- *缶詰・・・缶切り不要のものが◎。食べた後は食器として再利用可。
- *レトルト食品・・・加熱せずに食べられるものが◎。普段の食事に取り入れやすいものを。
- *カップ麺・・・カセットコンロを備えれば、ライフライン復旧前でも温かい食事が食べられる。
- *ミネラルウォーター・・・1人1日当たり3L程度必要と言われている。飲み水以外にも使用。



すでに缶詰やカップ麺は
ありませんか？
量を見直せば立派な非常食！



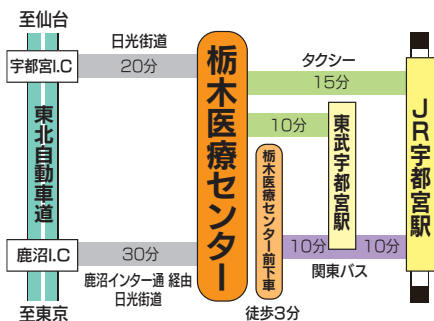
ローリングストック法

日用品を少し多めにストックし、「使ったら買う」の習慣で、常に一定量の備蓄をすることです。経済的にもほとんど無駄がありません。普段使いする食品なら、数か月の賞味期限内で十分です。

洗剤やペーパー類は
自然とローリングストック
していませんか？



交通のご案内



発行人

独立行政法人国立病院機構
栃木医療センター
院長 田村 明彦

〒320-8580
栃木県宇都宮市中戸祭1-10-37
TEL. 028-622-5241
FAX. 028-625-2718
URL. <https://tochigi.hosp.go.jp/>

